

資源物は市の中間処理事業者(株)下田商店へ

平成30年1月から、グリーンセンターでは、新施設などの建設工事のため、資源物を持ち込むことができなくなります。なるべく資源物の回収日(行政回収の日)にお出してください。

やむを得ず持ち込みが必要な方は、中間処理事業者(株)下田商店に直接持ち込んでください。また、大量の場合は事前に連絡をしてください。

※汚れたものやぬれた紙類など、資源化できないものは持ち込みできません

▼中間処理事業者(株)下田商店

営業時間

火曜～日曜日9:00～16:00※第4・第5日曜日を除く

所在地

万願寺2-35-6

持ち込みができる資源物

新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール、牛乳パック、古布、缶、びん

※ペットボトル・トレー類は引き続きグリーンセンターに持ち込むことができますが、工事車両などが多く通行するため、できるだけ行政回収日の排出や買ったお店にお返しください

問合せ先

(株)下田商店(☎583-0753)



夏休みごみ探検隊&最終処分場見学会を実施しました



今年で10年目を迎えた「夏休みごみ探検隊」が7/24～26に開催され、延べ143人の参加がありました。また、8/24に日野市で処理されたごみが最後に運ばれる場所である二ツ塚処分場(日の出町)の見学会を実施しました。最終処分場では探検隊で学んだ焼却灰からエコセメントをつくる工場や残った不燃ごみを埋め立てる場所などを見学し、子供たちは改めてごみ減量の大切さを学んだようでした。



プラスチック類資源化施設の平成32年度稼働に向けて



市では、新可燃ごみ処理施設稼働(平成32年度予定)に合わせて、さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、プラスチック類の分別・資源化に取り組みます。

プラスチック類資源化施設建設工事の請負事業者が「メタウォーター(株)」(請負額39億312万円(税込)、工期平成32年3/31まで)に決まり、現在、設計を進めています。

市民の皆さまには、施設の稼働に合わせて、プラスチック類を分別排出していただくようになります。分別・排出方法につきましては、今後お知らせしていきますので、ご協力をお願いします。

施設規模

(1) 破碎設備

- ・不燃ごみ : 6.9ト/日
- ・不燃性粗大ごみ : 2.2ト/日

(2) 選別設備

- ・プラスチック類 : 18.7ト/日

内訳

- プラスチック製容器包装 : 15.2ト/日
- 製品プラスチック : 3.5ト/日



▲浅川側



▲多摩川側

日野市民で

オリンピックメダルを作ろう!

東京オリンピック2020組織委員会が取り組む「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」に6月から日野市も参加しています。

家庭で不要となった小型家電類に含まれる希少金属などを集め、オリンピック・パラリンピックの入賞者用メダルを制作する取り組みです。

市では、金メダラー一つに必要な金属※の回収を目標に市内4カ所に回収ボックスを設置しています。現在の回収状況は以下の通りです。

※市の試算では金メダラー一つを作るために必要な金属はパソコン1000台と携帯電話などの小型家電2000台

回収品目	パソコン	携帯電話・その他
回収目標数	1,000台	2,000台
回収状況(9月末)	199台	1,044台
残り	801台	956台

回収できるものは、回収ボックスに入る大きさの小型家電類です。

投入口の大きさは縦5センチ×横30センチです。投入口に入らない小型家電類は、グリーンセンターでのみ、受け付けています。皆さまのご協力をお願いします。

TOKYO
2020

【回収BOX設置場所】

受付場所	時間	休止日
市役所1階市民相談窓口	8:30～17:15	日曜日、祝日、年末年始
七生支所		
豊田駅連絡所		
グリーンセンター事務所		土曜・日曜日、年末年始



+

浅川清流環境組合からのお知らせ

+

グリーンセンター周辺自治会の皆さまを対象とした建築工事説明会を8月27日に東部会館で行いました。説明会の内容および配布資料は、同組合HPに掲載しています。

また、11月に発行する「浅川清流環境組合ニュースVOL.05」(市内全戸に配布)にも掲載してお知らせする予定です。ぜひご覧ください。

新施設の建設・運営に当たっては、安全と環境への配慮に十分努めていきます。

☎ 浅川清流環境組合(☎589-0555)

+

+